

# 令和6年度 事業計画

社会福祉法人しらゆり会

設立認可 : 平成17年2月25日  
所在地 : 豊中市中桜塚2丁目9番24号  
代表者 : 理事長 武内慎吾

## 法人概要

### 【法人の沿革】

平成 17 年 2 月	「社会福祉法人しらゆり会」創設	理事長	吉田純彦
平成 17 年 4 月	「さくらづか保育園」開園（定員 70 名）	園長	豊島朱美
平成 19 年 4 月	「のぼたけ保育園」開園（定員 140 名）	園長	吉田純彦
	「さくらづか保育園」施設長変更	園長	土井文子
平成 23 年 4 月	「さくらづか保育園」定員 90 名に変更		
	「のぼたけ保育園」定員 160 名に変更		
平成 25 年 4 月	「さくらづか保育園」施設長変更	園長	村上美香
平成 27 年 9 月	「のぼたけマミー保育園」開園（定員 20 名）	園長	奥瀬佳代子
平成 29 年 6 月	「社会福祉法人しらゆり会」代表者変更	理事長	浅尾利機
平成 30 年 4 月	「さくらづか保育園」定員 120 名に変更		
平成 30 年 7 月	「社会福祉法人しらゆり会」代表者変更	理事長	武内慎吾
令和 3 年 4 月	「さくらづか保育園」「のぼたけ保育園」を幼保連携型認定こども園へ認可変更		
令和 5 年 4 月	「のぼたけマミー保育園」施設長変更	園長	長橋佳子

### 【保育の方針】

保育理念：「こどもはみんな宝物」

「こども達の最善の利益の尊重」

「こども達の育ちを支え、保護者の子育てを支える」

保育目標：「心身ともに健やかで、仲間を大切にする生き生きとしたこどもの育成」

- しなやかな身体と心を育む
- 仲間の中で自己主張でき、自分のことだけでなく相手のことも考え、認め合い、豊かな関わりを持つこどもを育てる
- 自分は大切な存在であると、自信をもって行動するこどもを育てる
- 自分で考え行動し、達成感・満足感を持てるこどもを育てる

職員心得

- 私たちはこども第一で仕事をします
- 保育士・保育教諭は、こどもの模範である事を常に自覚し、常識と良識に基づいて行動します
- 職務上知りえた個人情報の秘密を守ります
- 保育士・保育教諭として、常にその専門性の向上に努めます
- 保護者との信頼関係の構築に努めます
- 常に自己の責任の下に行動し、報告・連絡・相談を怠りません
- 他の職員との間で、お互いに良好な関係を保つ努力をします

【施設の概要】

認定こども園 さくらづか保育園 園長：村上 美香  
所在地：〒561-0881 豊中市中桜塚2丁目9番24号  
連絡先：TEL/06-6843-5868 FAX/06-6858-8088  
E-mail/sakura5868@sakuraduka.ed.jp

幼保連携型認定こども園 のばたけ保育園 園長：吉田 純彦  
所在地：〒560-0053 豊中市向丘3丁目2番1号  
連絡先：TEL/06-6848-4560 FAX/06-6848-4426  
E-mail/nobatake1@road.ocn.ne.jp

のばたけマミー保育園 園長：長橋 佳子  
所在地：〒560-0002 豊中市緑丘4丁目35番19号  
連絡先：TEL/06-6853-3533 FAX/06-6151-5455  
E-mail/nobatake.mami@clock.ocn.ne.jp



## 法 人 計 画

まず、令和5年度まで数年間かけて豊中市と協議してきた事業譲渡については、法律上の様々な制限があり断念せざるを得なくなった。今後の法人運営に関しては、様々な方針を本年度中の理事会・評議員会や施設長会、運営会議において決定していく必要がある。

さくらづか保育園は20年目を迎え豊中市との定期借地権満了期となり、新しい借地権設定契約を今期中に締結することになる。既に契約案の打合せは終了しており、可能性として挙がっていた土地の購入という線はなさそうなので、万が一の購入資金の為に積み立てていた積立金は、今後は園の修繕や改築工事等に使用していく予定である。

のぼたけ保育園は1号認定の受け入れが順調に伸びてきていることもあり、経営面において非常に安定してきている。定期借地権の満了期まではあと2年となり、さくらづか保育園の契約更新内容に追随することになるので、しっかりと打合せを交わしていく。

のぼたけマミー保育園については、長橋佳子園長に変更になって2年目となる。法人内で情報提供・連絡・相談を重ねながら運営を行っていきたい。

地域貢献に関しては、能登半島地震もあったことから地域住民や自治会と連携して、防災についてより密接な関係性を築いていき何が災害時に必要で、どんな支援が出来るかなどを話せる機会を作っていきたい。また、自治会行事も昨年度から活動できてきているので、出来る限り地域と施設の密着した関係性を築いていくほか、「大阪しあわせネットワーク事業」を活用して地域の生活困窮者の情報を拾い出し、相談支援・経済的援助を行っていく。

## 各施設計画

### 【認定こども園 さくらづか保育園】

利用定員：

区分	3号認定			上段：2号認定 下段：1号認定			合計
	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	
定員	9名	20名	22名	23名 2名	23名 2名	23名 2名	120名 6名
弾力化実員 (4/1 予定)	12名	24名	24名	25名 2名	27名 1名	26名 2名	138名 5名

職員数：

種別	園長	主幹保育教諭	保育教諭	助保育教諭	看護師	栄養士	調理員	用務員	事務員
常勤	1名	2名	24名	—	—	1名	2名	—	—
非常勤	—	—	15名	3名	1名	—	3名	1名	1名
合計	1名	2名	39名	3名	1名	1名	5名	1名	1名

学校医：

種別	内科医	歯科医	眼科医	耳鼻咽喉科医	薬剤師	合計
嘱託	1名	1名	1名	1名	1名	5名

第三者委員：岡本清治、松 公造

本年度重点的に取り組む目標・計画

- 子どもの人権を大切にする保育に努める。
- 子どもが主体的に遊びを作り出し、夢中になって取り組めるような環境構成の充実を図る
- 「子どもの興味・関心」について探り、保育教諭としての専門性と視点・視野を広げていく、ドキュメンテーションの園内研修に取り組む。
- 職員が安心して働けるように、育児・介護休暇の内容を充実させる。

目標・計画の具体的な項目と取り組み方法

項目	取組方法
保育内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 人権保育について定期的に学び合ったり、不適切保育についてのチェックシートで自己評価を行い日々の保育を振り返ったりしながら、子ども一人ひとりを大切にした保育を丁寧に行う。</li> <li>● 日常の過ごし方を見直し、子どもが選択した遊びが十分に取組める時間や場所を確保する。</li> <li>● 乳児は特に応答的な関わりを大切にし、一人ひとりに合わせた排泄・食事・睡眠が行えるような保育を工夫する。</li> <li>● インクルーシブ保育・多文化共生保育を今まで以上に取り入れた保育を行い、国籍や文化の違いそれぞれの個性を認め合える子ども同士の関係性や仲間づくりに努める。</li> <li>● ドキュメンテーションでの園内研修を取り入れ「保育の見える化」をすることで、子どもの理解を深めあい保育の質の向上に努める。</li> </ul>
職員処遇	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 子育てや介護をしながら勤務している保育教諭が増えているため、安心して子育て・介護の休暇をとれるような仕組みや人員配置に努める。</li> <li>● 各カリキュラムの書式や内容を見直して保育に必要な書式にする。できるだけ書類作業の軽減に繋げる。</li> <li>● 昨年度より有給休暇取得をより充実させるため、年間計画による連続休暇取得を試験的に採用したが、好評であったのでより一層充実したものに更新していく。</li> <li>● 残業時間について、行事前であってもほぼ残ることなく勤務できている。引き続き残業ゼロを目標に運営していく。</li> </ul>
地域貢献	<ul style="list-style-type: none"> <li>● スマイルサポーターを3名配置。地域の方の相談窓口として努めていく。</li> <li>● 園庭開放、0歳・1歳児親子【さくらっこサークル】・一時保育の内容を充実させ、親子支援に努める。</li> <li>● 赤ちゃんの駅（園庭解放・オムツ交換、授乳室の提供）</li> <li>● 保育実習生・ボランティアの積極的な受け入れ。</li> <li>● AEDの設置及び掲示</li> <li>● 年長児が高齢者の会の【まほろば会】【敬老の日】に参加し世代間交流を行う。</li> <li>● 北桜塚自治会の行事に参加を増やし、地域との交流を深める。</li> </ul>

その他特記事項（施設整備関係）

➤ 既設オーニング張替工事

【幼保連携型認定こども園 のばたけ保育園】

利用定員：

区分	3号認定			上段：2号認定 下段：1号認定			合計
	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	
定員	15名	25名	30名	30名 3名	30名 3名	30名 3名	160名 9名
弾力化実員 (4/1 予定)	15名	25名	30名	30名 3名	47名 4名	30名 4名	177名 11名

職員数：

種別	園長	副園長	主幹保育教諭	保育教諭	看護師	調理員	用務・警備員	事務員
常勤	1名	1名	2名	36名	1名	3名	—	2名
非常勤	—	—	—	8名	—	2名	2名	—
合計	1名	1名	2名	44名	1名	5名	2名	2名

学校医：

種別	内科医	歯科医	眼科医	耳鼻咽喉科医	薬剤師	合計
嘱託	1名	1名	1名	1名	1名	5名

第三者委員：安芸雅美、平川郁子

本年度重点的に取り組む目標・計画

- 子どもが自分で考え選択できる環境づくりに努め、子どもの主体性を育む。
- 新しい課内の取り組み（絵画教室・手話）をはじめることと、配慮のいる子どもが多数いることを踏まえ、インクルーシブ保育に重点的に取り組む
- 職員の役割分担を明確にし、自分のやるべき仕事に責任をもって最後まで取り組めるよう話し合い、情報の共有を欠かさないようにする。

目標・計画の具体的な項目と取り組み方法

項目	取組方法
保育内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 一人ひとりの個性をしっかりと見極め、自らの意思をもって行動できるよう主体性を育てる保育をする。</li> <li>● 様々な場面で子どもたちが対話する機会を設け、自分の思いを伝えるだけでなく相手の思いにも気づける、お互いに認め合う関係づくりに努める。</li> <li>● 体幹や基礎体力をつけるための運動や活動する時間をこれまで以上に増やしつつ、絵画教室・手話などの新しい課内活動を増やすなど情緒や表現する力を育てる保育にも力を入れていく。</li> <li>● 配慮のいる子どもが多数いる中で、多様性を認め合い違いを受け入れながら一緒に生活することで、必要な時に必要な援助ができるような保育を実践し子どもたちの思いやりの心を育てる。</li> </ul>
職員処遇	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 業務の分担・役割をしっかりと明確にし、勤務時間内に事務作業の時間を作り無駄な残業をできるだけ減らし、働きやすい職場づくりに努める。</li> <li>● 職員一人一人の保育力を上げるため、園内研修や一人一回は参加できる園外研修を含め研修計画をしっかりと立てインプットし、職員会議で発表する機会や午睡の時間を有効活用するなどアウトプットできる環境づくりに努める。</li> <li>● 新人職員が多いので、メンター制などメンタルでのフォローを含め悩みやわからないところを教えるなど新人教育に力を入れる。</li> </ul>
地域貢献	<ul style="list-style-type: none"> <li>● スマイルサポーターを主幹教諭が兼任することで常駐しているため、地域の子育て中の保護者が園を利用した際、話を聞いたり相談を受けた際、必要に応じて他の機関と連携できるようにする。</li> <li>● 園の行事や0.1歳児の子育てサークル・一時保育・園庭開放・出前保育を含めた情報をホームページや広告で発信し、地域の保護者の方に開かれた施設として地域に貢献できるよう努める。</li> <li>● 積極的にボランティア、実習生の受け入れを行う。</li> </ul>

その他特記事項（施設整備関係）

【のばたけマミー保育園】

利用定員：

区分	3号認定			2号認定			合計
	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	
年齢	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	
定員	6名	7名	7名	—	—	—	20名
弾力化実員 (4/1 予定)	3名	10名	9名	—	—	—	22名

職員数：

種別	園長	主任保育士	保育士	看護師	栄養士	
常勤	1名	1名	8名	1名	2名	—
非常勤	—	—	2名	—	—	
合計	1名	1名	10名	1名	2名	

嘱託医：

種別	内科医	歯科医	眼科医	耳鼻咽喉科医	薬剤師	合計
嘱託	1名	1名	—	—	—	2名

第三者委員：安芸雅美、平川郁子

本年度重点的に取り組む目標・計画

- 安心安全保育の実践に取り組む。
- 子どもの人権の尊重をすべての取り組みの基盤とする。
- 家庭的な雰囲気の中で、一人ひとりの子どもを大切に育てる。
- 興味や意欲をもって行動できる子どもを育てるために保育環境の充実を図る。
- 園児が安全かつ快適に生活できるよう、建物設備等の維持管理、事故の防止、急変時等の緊急対応の迅速化、および防災対策の充実に努める。

目標・計画の具体的な項目と取り組み方法

項目	取組方法
保育内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 子どもが安全に安心して過ごせ、また、一人ひとりの発達や興味にあった遊びが豊かに展開できるよう保育環境を整えるとともに、子どもが自主的に遊ぶ姿を見守り、支援したり共感したりしながら考える力や意欲の育ちを応援する。</li> <li>● 野菜を育てたり食材に触れたりして食への興味を深め、食べる楽しみにつなげる。</li> <li>● 運動遊びを楽しみながら体幹を鍛え、安定したからだの基礎をつくる。</li> <li>● 英語に触れる機会を作り、多言語や多文化に慣れ親しむ基盤をつくる。</li> <li>● 音楽遊びを通して、全身でリズムを感じ表現する楽しさを知る。</li> </ul>
職員処遇	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 希望する研修が受講できるよう配慮し、意欲的に学ぶ機会を作る。</li> <li>● 体調不良時は遠慮なく休養がとれる環境や、各々の事情を理解して助け合える職場づくりに引き続き取り組む。</li> <li>● 保育から離れて事務を執る時間を確保し、持ち帰り仕事や残業作業の軽減に取り組む。</li> <li>● 新任職員も自分の特技を発揮しながら充実して仕事ができるよう、ゆるやかなメンター性を取り入れ定着を図る。</li> <li>● キャリアに応じた職務内容を明確にし、組織内での存在意義を高め働く意欲につなげていけるようにする。</li> </ul>
地域貢献	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 月1回「みんなであそぼ」で地域の0~2歳児およびその保護者や妊産婦との交流を図り、遊びの場の提供や育児相談を行う。</li> <li>● 月1回程度、土曜日に保育室を開放して地域の方や卒園児および卒園児保護等が安心して過ごすことのできる場所の提供をする。</li> <li>● スマイルサポーター（3名）による育児相談を行う。</li> <li>● 赤ちゃんの駅（オムツ交換・授乳場所の提供）</li> <li>● 異世代交流 地域の高齢者施設「アクティブライフ豊中」訪問。</li> <li>● 公園清掃活動や地域の親子との交流。</li> <li>● 夏祭りを実施して地域交流を図る。</li> <li>● 絵本の貸出し</li> </ul>

その他特記事項（施設整備関係）